

IEC/TC108会議報告 (1/2)

IEC/TC108の会議が、対面の会議としては3年ぶりにサンフランシスコ（米国）にて、2022年10月31日～11月4日に開催されました。対面のみでの会議であること、及び国や企業などで出張制限等を設けられている場合もあることから、参加者は、Plenary会議においても12カ国から38名であり、以前の2/3程度となりました。今回はPT63315, PT63316, HBSDT, Plenaryの4つの会議が行われましたので審議事項や状況等を報告いたします。

【PT63315会議】

PT63315は、通信用のケーブルを用いて60V未満の直流を情報通信技術機器等の通信ポートから給電する機器、及び受電する機器に対する、安全性の要求事項を定める規格です。これらの通信ポートには汎用のインターフェイスとなるUSBやPoEなどが含まれます。

この規格は将来IEC 63315として発行される予定で、IEC 62368-3（通信ケーブル及び通信ポートを介する直流電力伝送の安全性要求事項）に定めた規定の内、ES1及びES2となる直流を用いる場合の要求事項に取って代わる規格となります。この規格は機器間通信で起こる通信エラーやプロトコル保護といった現在実用化されている機能にも対応できるようにアップデートしたものとしています。

会議では、この規格のCD（委員会原案）に対して各国から寄せられた128件のコメントの検討を、主に行いました。これらのコメントを反映した2ndCDを発行することとし、国際規格としては2024年に発行すること目標としました。

【PT63316会議】

PT63316は、通信用のケーブルを用いて60V以上の直流又は交流を情報通信技術機器の通信ポートから給電する機器、及び受電する機器に対する、安全性の要求事項を定める規格です。これらの通信ポートには通信事業者が使用するものや通信用の設備などが含まれます。

この規格は将来IEC 63316として発行される予定であり、IEC 62368-3に定めた規定の内、ES3における要求事項に取って代わる規格となります。この規格は直流だけではなく、交流で伝送する場合の要求事項を含めることとしています。

会議では、この規格のCD（委員会原案）に対する各国から寄せられた36件のコメントを審議し、コンセンサスが得られたため、次のステージはCDV（投票用委員会原案）とすることとしました。



会議場の様子

【HBSDT会議】

HBSDT会議では、IEC 62368-1（オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器の安全性要求事項）及びその他、IEC/TC108/HBSDTが所管する規格の改正等の審議を行いました。

IEC 62368-1第4版は2022年5月にCDVが可決し、各国からのコメントも審議が終了していることからFDIS（最終国際規格案）を発行することとしています。このFDISは現在編集作業中ですが、編集上の多く問題点を解決するのに時間がかかることから、発行は2022年末から2023年当初となるとのアナウンスがありました。

IEC/TC108/HBSDTでは、IEC 62368-1第4版に取り入れることができなかった事項等を反映しアップデートを行うため、第5版（又は追補）の発行に向け、審議を進めています。今回の会議ではセミコンダクタの内部の距離やリチウム電池に備えるべきエンクロージャなどの要求事項に対する改定提案等があり、今後審議を進めることとなりました。

IEC 62368-1の規格解釈に関する事項として、イヤホンなどがBluetoothで接続された場合の測定方法、シャープエッジの考え方などが審議されました。これらの事項は今後さらに審議を進めIEC/TC108の文書として発行することを予定しています。

IECEE CTLが発行するProvisional DecisionやEN規格としての解釈事項であるOSM Decisionについてもこの会議にて確認等が行われました。

次回以降のHBSDT会議に関し、すべての国が対面会議に参加できる状況になっているかどうか不透明でもあり、2023年の春はVirtualでの会議を予定し、秋の会議は対面の会議を予定しました。

IEC/TC108会議報告 (2/2)

【Plenary会議】

Plenary会議はTC108の運営やビジネスプランなどの審議を行う会議です。この会議では次の報告事項や決定事項が含まれました。

- TC108の組織に関し、PT63315の新たなリーダーの確認、編集委員会（EG1）の追加メンバーの承認、IEC 60990を取り扱うWG5の共同コンピナの募集が行われました。
- IEC 62102（Electrical safety - Classification of interfaces for equipment to be connected to information and communications technology networks）、及びIEC 62911（Audio, video and information technology equipment - Routine electrical safety testing in production）の、新しい版の作業を開始する。
- IEC 60065及びIEC 60950シリーズの規格を2023年12月31日に廃止する。（規格の廃止は、その規格がそれ以降使えなくなることを意味するのではなく、廃止された規格を使うことも、参照することも、購入することも可能となります。また、IEC規格の廃止とIECEE CB制度に基づいて採用される規格とは別の扱いであり、CB証明書の発行及び受け入れができなくなるということではありません。）
- MT1（IEC 60065のメンテナンスチーム）及びMT2を廃止（IEC 60950シリーズの規格のメンテナンスチーム）を廃止する。



会場となったParc55ホテル(サンフランシスコ)

次回のPlenary会議は2024年の開催されるIEC総会に招待を受けることができれば、その一部として開催することとしています。



コーヒープレイクの様子

【お問い合わせ先】電気製品安全センター

E-mail : center@jet.or.jp



一般財団法人電気安全環境研究所

JAPAN ELECTRICAL SAFETY & ENVIRONMENT TECHNOLOGY LABORATORIES